

【社会に適応できる自立した人間になるために必要なこと②】

私の目標は、君たちが将来、一人前の社会人になる（俗っぽく言うと「食えるようにする」）ことです。食っていくためには稼がねばならない。稼ぐには、何らかの社会のニーズに応じる力が求められます。自分で食えて、ようやく他の社会構成員を「食わせる」道が開けます。自分が食えないのに夢だけ先走っても、それは絵に描いた餅でしかありません。

天才でもない限り、「どう転んでも食える」ためには、知識や技能、チームワークといったスキルや強みが必要です。そのような能力を発揮する土台として、「メンタルの安定」、「しぶとさ」、「生き抜く力」が必要です。

今回は夢や進路に迷う君たちに、それを決めるにあたって意識してほしいことをまとめました。

●将来の目標を決めるうえで大切にすべき 9 つの観点

- 1 行動する
- 2 チャンスを自らつくる
 - ① 好奇心、②持続性、③柔軟性、④楽観性、⑤冒険心
- 3 経験を積む
- 4 成功体験を積む（自己肯定感を育む）
- 5 理想像をつくる
- 6 自分を知る
- 7 社会を知る
- 8 信頼できる人に進路相談する
- 9 あえて夢をもたない（あせらない）

太字で下線を引いた項目は特に大切です。ただし、9 番「夢をもたない」は対外的には疑問符をつけられるので公言しないほうがよいかもしれません。ボヤッとした目標設定も有効です。例えば、私が君たちの年代だった頃は、将来は物理や数学を生かした仕事に就いてみたいといったような漠然とした気持ちはありましたが、具体的な夢もありませんでした。たぶん、そのような人が世の中には大勢います。夢がないといって、悲観することはナンセンスです。自分を知って、社会のニーズを知り、自分の立ち位置を自覚すればよいのです。